

みずほCustomer Desk Report 2023/07/26 号 (As of 2023/07/25)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	141.58
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	141.54	1.1064	156.61	1.2811	0.6733
SYD-NY High	141.73	1.1086	156.84	1.2905	0.6795
SYD-NY Low	140.86	1.1023	155.68	1.2810	0.6727
NY 5:00 PM	140.97	1.1059	155.76	1.2901	0.6793

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	35,438.07	26.83	日本2年債	▲0.0400%	0.0000%
NASDAQ	14,144.56	85.69	日本10年債	0.4600%	0.0100%
S&P	4,567.46	12.82	米国2年債	4.8765%	▲0.0469%
日経平均	32,682.51	▲18.43	米国5年債	4.1667%	0.0107%
TOPIX	2,285.38	4.20	米国10年債	3.8894%	0.0120%
シカゴ日経先物	32,640.00	▲115.00	独10年債	2.3995%	0.0140%
ロンドンFT	7,691.80	13.21	英10年債	4.2635%	0.0110%
DAX	16,211.59	20.64	豪10年債	4.0010%	0.0120%
ハンセン指数	19,434.40	766.25	USDJPY 1M Vol	11.08%	0.04%
上海総合	3,231.52	67.36	USDJPY 3M Vol	10.06%	▲0.03%
NY金	1,963.70	1.50	USDJPY 6M Vol	9.65%	▲0.11%
WTI	79.63	0.89	USDJPY 1M 25RR	▲1.54%	Yen Call Over
CRB指数	281.89	1.76	EURJPY 3M Vol	9.85%	0.06%
ドルインデックス	101.35	0.00	EURJPY 6M Vol	9.69%	0.04%

東京	東京時間のドル円は141.54レベルでオープン。5・10日に伴う実需取引もあって仲値にかけては売り買いが交錯。一時141.62をつけるも米金利低下の流れにドル円も141.22まで下落した。その後141円台半ばまで値を戻し、141.47レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、141.47レベルでオープン。一時、米10年債利回りが3.9%台に上昇したことを背景に141.73レベルまで上昇。その後反落し、結局141.32レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1084レベルでオープン。独6月IFO景況感指数が予想を下回り、1.1039レベルまで下落。結局、1.1049レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は141円台半ばでスタート。注目の米7月FOMCの結果発表を明日に控え、積極的な取引が手控えられる中、141.40付近を挟んだ方向感乏しい推移が続き、141.32レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇に伴う買いが優勢となり、141.55まで上昇するも、買いは長続きせず、141円台前半まで反落する。続いて発表された米7月コンファレンスボード消費者信頼感指数が予想を上回り、141円台半ばまで反発するも、米金利が低下する展開に上値を抑えられ、再び反落する等神経質な動きを見せる。午後は先述のFOMCの結果発表の様子見姿勢が強くなり、141円台前半での揉み合い後、140.97レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.10台でスタート。1.1090手前付近まで上昇する場面も見られたが、その後発表された独7月IFO企業景況感指数とユーロ圏第2四半期・銀行貸出調査が共に予想より悪化した内容が嫌気され、売りが先行し、1.1049レベルでNYオープン。午前中は先述の米経済指標の内容を受け、1.1023まで下げ幅を拡大する。その後下げ渋り、1.10台半ばまで切り返す。午後は小幅反発し、1.1050付近まで上昇する。終盤にかけては1.1059レベルを付け、そのままクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・逸見

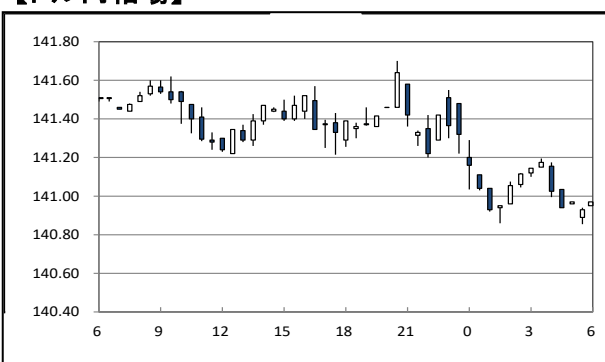
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月25日	17:00	独 IFO企業景況感指数	7月 87.3	88.0
	17:00	独 IFO現況指数	7月 91.3	93.0
	17:00	独 IFO期待指数	7月 83.5	83.4
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	7月 117.0	112.0
	23:00	米 リッチモンド連銀製造業指数	7月 -9	-10

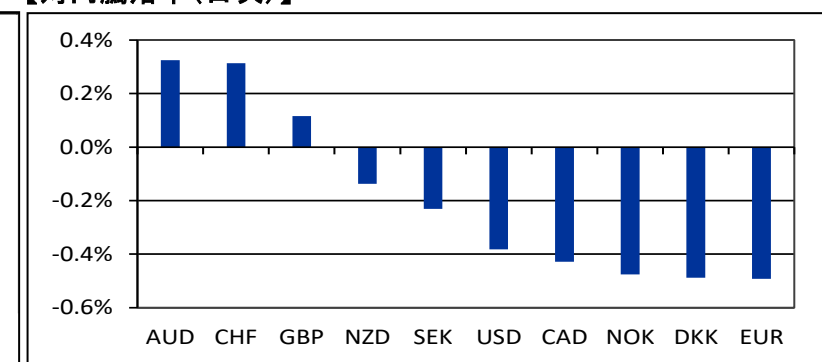
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月26日	10:30	豪 CPI(前期比/前年比)	2Q 1.0%/6.2%	1.4%/7.0%
	14:00	日 景気一致指数・確報	5月 -	113.8
	23:00	米 新築住宅販売件数	6月 725k	763k
7月27日	03:00	米 FOMC政策金利	26-Jul 5.25%-5.50%	5.00%-5.25%
	03:30	米 パウエルFRB議長 会見	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	140.00-142.00	1.1000-1.1100	154.50-157.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はFOMCを翌日に控え動意に欠ける展開となった。141円台半ばでオープンすると海外時間には米金利上昇にドル円も一時141.73まで上昇する場面も見られた。ただ、長続きせず米金利が上げ幅を縮小させるとドル円も141円割れまで下落。その後は141円台前半でもみ合い、結局140.97レベルでクローズした。本日のFOMCでは+25bp利上げがほぼ確実視されている。6月FOMC以降パウエルFRB議長は年内2回利上げを仄めかしているものの、今月のインフレ指標がディスインフレを示唆していることもあり、市場では本会合での利上げが最後になると見る向きが多い。本会合では結果以上に声明文やパウエルFRB議長発言等を通じて、FEDの今後のスタンスを見定める会合となりそうだ。